

<夕食の支度>

主婦の95%以上は、メインで夕食の支度をしている
メインで夕食の支度をしている主婦は、1週間のうち平均6.5日夕食を作っている

メインで夕食の支度をする人は、「自分自身」が95.2%とほとんどで、「配偶者(夫)」は3.3%とごく少数。ライフステージ別でみると、「子供が独立」しているステージのみ「自分自身」が9割を下回り、代わりに「配偶者(夫)」が約1割とステージ間で最も高い。(グラフ)

1週間のうち、主婦が夕食の支度をする日数は「7日」が最も多く、全体の平均では6.5日である(グラフ)。

夫が夕食の支度を手伝う日数は1週間のうち0.6日

1週間のうち、夕食の支度を夫が手伝う日数は平均0.6日。お手伝い率(手伝った日数/主婦が支度をした日数 × 100(%))に換算すると約1割(グラフ)。

ライフステージ別でみると、いずれのステージも平均日数は1日に満たず、中学生の子供がいるステージでは平均0.4日と特に少ない。

子供が夕食の支度を手伝う日数は1週間のうち2.0日

1週間のうち、夕食の支度を子供が手伝う日数は平均2.0日。お手伝い率(手伝った日数/主婦が支度をした日数 × 100(%))に換算すると約3割であった(グラフ)。

子供のステージ別でみると、「小学生」は「7日」が15.5%と他のステージよりも高く、平均日数が2.8日と最も多い。一方、「中学生」「大学生以上の学生」「学校卒業以上の大人」は「0日」が5~6割と他よりも高く、平均日数は小学生をピークに、それ以降は年齢が上がるほど減少している。

<回答者プロフィール>

年代:20代以下 9.0%、30代 45.6%、40代 31.5%、50代 10.8%、60代以上3.1%、平均年齢39.8歳。就業形態:専業主婦 64.8%、パート・アルバイト19.6%、フルタイム11.1%、その他(自営・在宅など含む)4.5%。

<調査実施> リビング新聞ネットワーク / アイ・マーケティングアドバンス株式会社

リビング新聞ネットワーク 女性のための生活情報紙「リビング新聞」は、仙台から鹿児島までの60エリアで908万部発行され、エリアごと地域に密着した情報収集と発信を行っています。2006年度~2007年度は「わが家ごはん・地元ごはん・ニッポンのごはん」キャンペーンを全国で実施。地産地消、食育などについてのデータは下記サイトでもご覧いただけます。

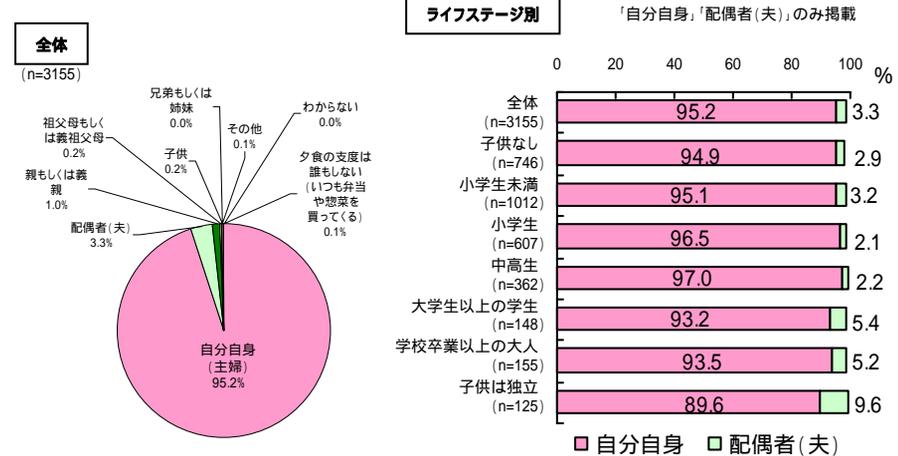
ウェブサイト <http://wagaya-gohan.jp/>

リビングくらしHOW研究所 女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。

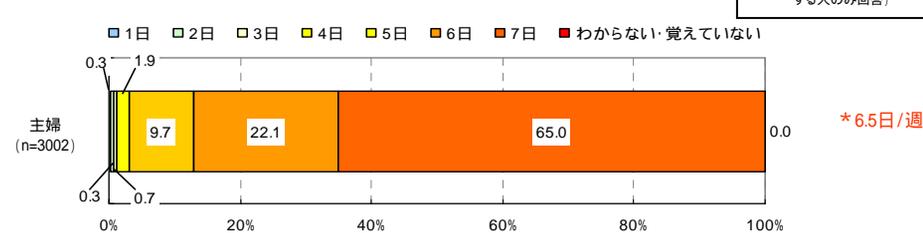
ウェブサイト <http://www.kurashihow.co.jp>

問い合わせ TEL03-5216-9420 FAX03-5216-9430

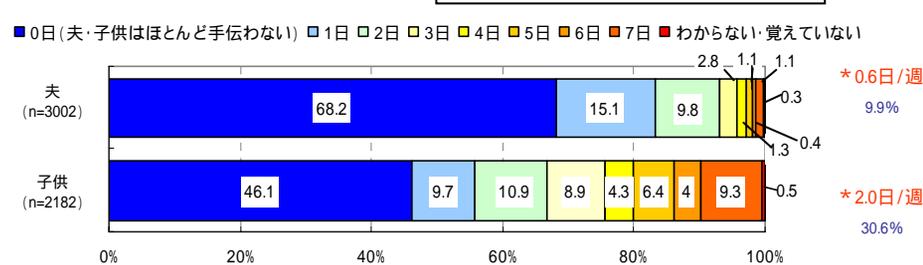
グラフ メインで夕食の支度をする人は?



グラフ 主婦が1週間に夕食の支度をする日数 (だいたい平均でお答えください)



グラフ 夫・子供が夕食の支度を手伝う日数



* 平均日数 = 平均日数は「わからない・覚えていない」を除いて集計
お手伝い率 (%) = 手伝った日数 / 主婦が支度をした日数 × 100 (%)



<夕食の支度 お手伝い内容>

夫のお手伝い(夕食の支度)では「配膳」「調理」が6割以上

夕食の支度を手伝っている夫のお手伝い内容を複数回答で聞いた結果、「配膳」が最も多く(67.7%、次いで「調理(加熱、味付けなど)」が60.1%、「盛り付け(ご飯をよそう、おかずを盛り付けるなど)」が51.9%である。(グラフ /左)

ライフステージ別で見ると、「配膳」は子供なしのステージの夫で74.7%と高く、「調理」「盛り付け」は小学生未満の子供がいるステージの夫で全体より5%以上高い。また、「調理の下準備」は子供が学校卒業以上の大人~独立といった高いステージの夫で5割以上と、他のステージよりも高い。(グラフ)

子供のお手伝い(夕食の支度)では「配膳」が約9割 次いで「盛り付け」「調理の下準備」が4割以上

夕食の支度を手伝っている子供のお手伝い内容を複数回答で聞いた結果、「配膳」が最も多く(89.4%、次いで「盛り付け」が47.7%、「調理の下準備」が42.7%である。夫のお手伝いと比べ、「配膳」の割合が高く、「調理」の割合は少ない。(グラフ /右)

子供のステージ別で見ると、「配膳」はいずれのステージでも8割以上と高く、「盛り付け」「調理」は、ステージが高くなるほど割合が増加する。学校卒業以上の大人は、前述のとおりお手伝い日数は多くないが、手伝う内容は多岐にわたる。(グラフ)

<回答者プロフィール>

年代:20代以下 9.0%、30代 45.6%、40代 31.5%、50代 10.8%、60代以上3.1%、平均年齢39.8歳。 就業形態:専業主婦 64.8%、パート・アルバイト19.6%、フルタイム11.1%、その他(自営・在宅など含む)4.5%。

<調査実施> リビング新聞ネットワーク / アイ・マーケティングアドバンス株式会社

リビング新聞ネットワーク 女性のための生活情報紙「リビング新聞」は、仙台から鹿児島までの60エリアで908万部発行され、エリアごと地域に密着した情報収集と発信を行っています。2006年度~2007年度は「**わが家ごはん・地元ごはん・ニッポンのごはん**」キャンペーンを全国で実施。地産地消、食育などについてのデータは下記サイトでもご覧いただけます。

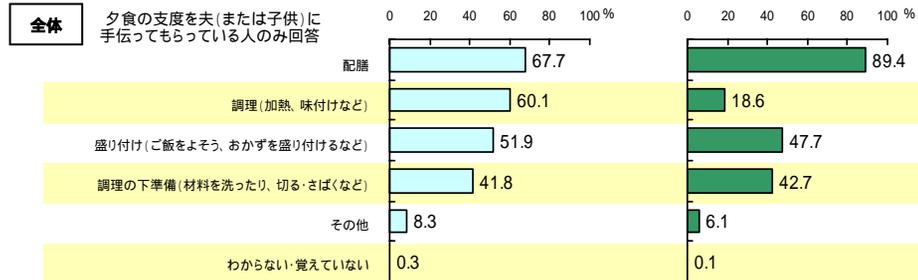
ウェブサイト <http://wagaya-gohan.jp/>

リビングくらしHOW研究所 女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。

ウェブサイト <http://www.kurashihow.co.jp>

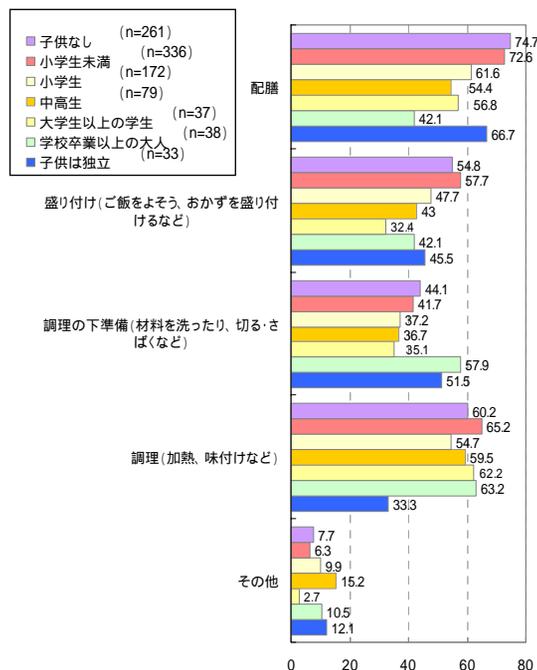
問い合わせ TEL03-5216-9420 FAX03-5216-9430

グラフ 夕食の支度のお手伝い内容



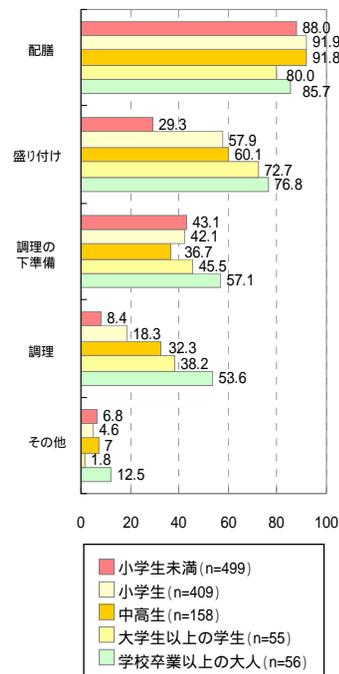
グラフ

夫のお手伝い (ライフステージ別)



グラフ

子供のお手伝い (ライフステージ別)



「わからない・覚えていない」は未掲載